

第4節 その他構内の立会調査

1 人文・理学部7号職員宿舎公共下水道切替に伴う立会調査

調査地区 山口市石観音町1-25

調査期間 平成3年2月26日 3月1・5日

調査方法 工事施工時における立会調査

調査面積 約1.2㎡

調査結果 工事は宿舎敷地の北側に公共下水道に伴い排水管を埋設するもので、工事規模を勘案して立会調査を実施した。調査地は大内氏関連町並遺跡の範囲内にあたる。

A地点では深さ90cmまでの掘削で、13cmまで黒褐色砂質土の表土、その下層が大内氏館跡周辺でみられる地山である明黄褐色粘質土であった。B地点は、深さ55cmまで掘削し、すべて褐色粘質土の埋め土であった。C地点は、深さ62cmまで掘削し、上層から黒褐色粘質土、暗オリーブ褐色土、礫を含む黒褐色粘質土の3層に分層されるがすべて埋め土であった。B、C地点とも近代の投棄場の範囲内と思われる。各地点とも遺構は検出できなかったが、B・C地点で若干の土師質土器、陶器、磁器が出土した。

出土遺物 (Fig. 53, PL. 33)

C地点より出土。伊万里系の近世磁器の紅皿。外面に菊花を型押しするが、ずれて2重になる。胎土・焼成とも良好で、素地は灰白色(7.5Y8/1)、釉は明緑灰色(7.5GY8/1)を呈する。内面にのみ施釉する。口径4.9cm、底径1.8cm、器高1.4cm。

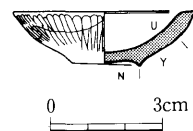


Fig.53 出土遺物実測図

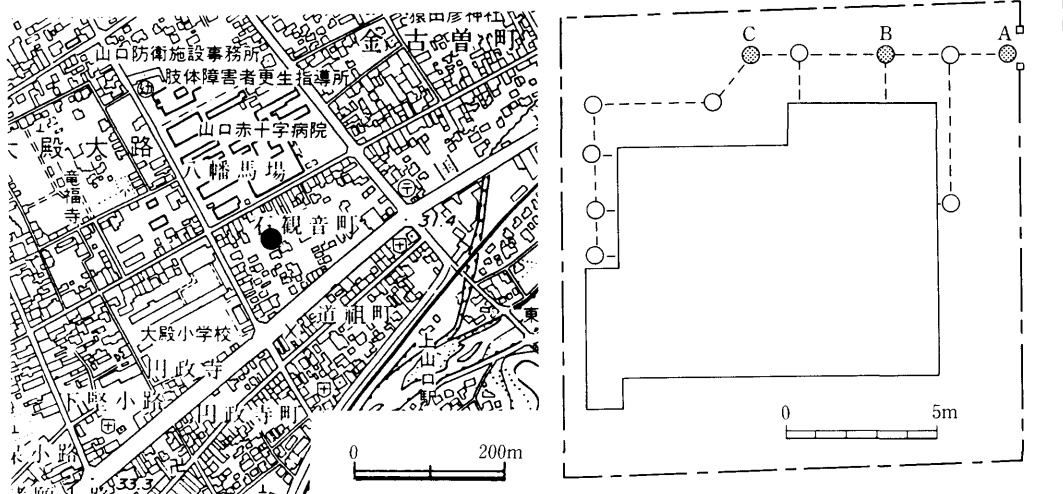


Fig. 54 調査区位置図

2 経済学部3号職員宿舎公共下水道切替に伴う立会調査

調査地区 山口市香山町3-1

調査期間 平成3年2月25日

調査方法 工事施工時における立会調査

調査面積 約0.5m²

調査結果 工事地域は一の坂川の下流に近い右岸の低丘陵上に位置する。工事は宿舎敷地の西半部に公共下水道の使用に伴い排水管を埋設するもので、工事規模を勘案して立会調査を実施した。

調査は比較的掘削規模の大きい集水枡のうち、後世の掘削が及んでいない二ヶ所を選定して、土層の堆積状況、遺物包含層および遺構の有無を観察した。その結果、両地点とも現地表面から約50cmまでは後世の攪乱土で、その下位はしまりの強い黄褐色粘質土の地山であった。最終的に現地表面から約1mほど掘り下げたが、層位に変化はみられなかった。なお、調査時に周辺に存在する畑地で表面採集を試みたが、遺物は採集できなかった。

今回の調査地域周辺では現在までに遺跡は全く周知されておらず、埋蔵文化財の空白地となっている。民家が密集している現状では、遺物包含層は存在していたとしても削平によって消失している可能性が高いが、安定した地山面が存在していることから今後の調査によって遺構が検出される可能性も否定できない。

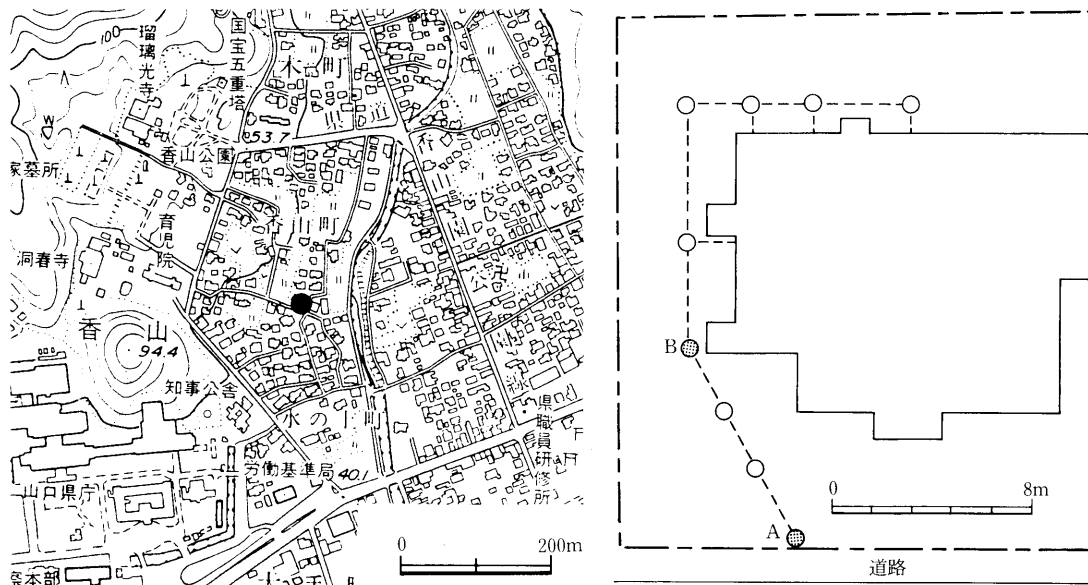
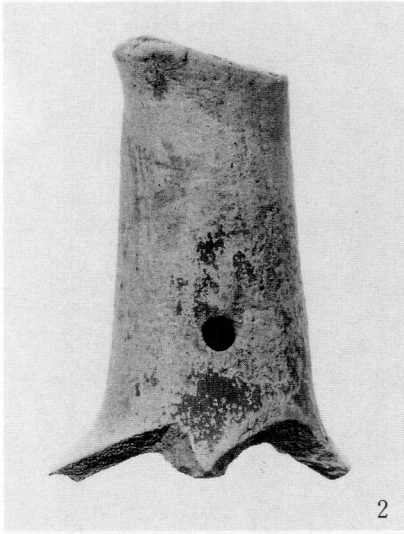
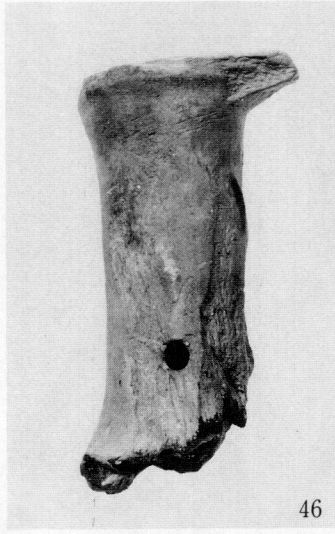


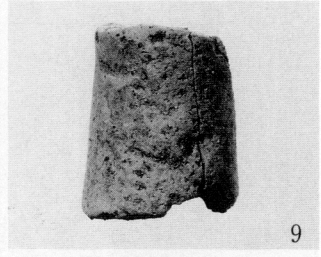
Fig. 55 調査区位置図



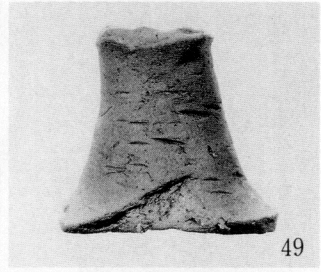
2



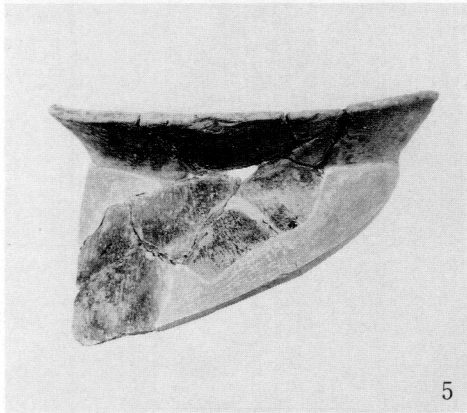
46



9



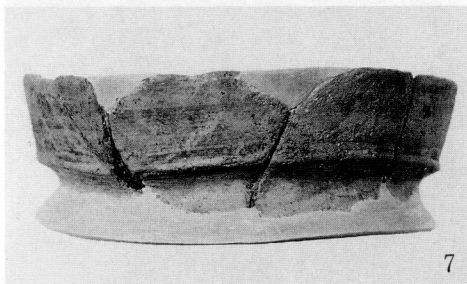
49



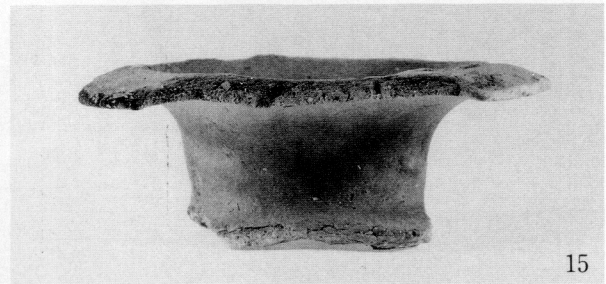
5



38



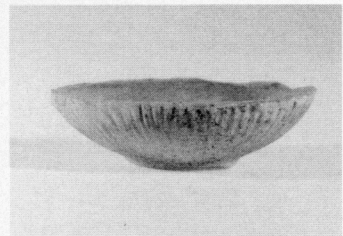
7



15



53



人文・理学部7号職員宿舎公共下水道切替に伴う立会調査出土遺物 約2:3

亀山構内教育学部附属山口中学校汚水排水管布設に伴う立会調査出土遺物 (3) 5・53…1:3, その他約1:2